

みなさんおはようございます。

8月下旬なのに今日も大変暑いことから、放送による始業式としました。

少し短めの夏休みでしたが、振り返ればそれなりに日数もあり、充実した日々を送ることができたでしょうか。

いずれにしても、今日から2学期のスタートです。気持ちをリセットして、張り切って行きましょう。

さて、受験を控えた3年生は、多くの時間を勉強に費やしたことと思います。「思ったほど進まなかった。」と感じている人もいるかもしれません。

多少、不安な気持ちを持っていても大丈夫です。不安な気持ちを整理します。

大学受験日程や内容がどうなるかの不安。これは、公表されましたので決定です。

それから、来年1月から3月の受験の時期に、新型コロナウイルスの影響がどうなるかの不安。これは、誰にも答えはわかりません。でも、大学受験に大きな影響があるとすれば、全国の受験生全体の話になるので、思い悩んでもしょうがありません。今、各自でやっておくことは、受験可能性のある大学の大学案内や選抜要項を入手すること、受験日程のホテルの予約の段取り、新型コロナウイルスの感染予防などです。

最後の不安は、受験勉強の不安です。これは、毎年の受験生が感じるもので、今年の生徒だけというものではありません。学校の授業は、コロナ禍とはいえ順調に進んでいますので、各自の対策は、不安に押しつぶされず、自分を信じて、冷静に勉学をすすめることです。

自分を信じる「自信」というものは、自分が高いレベルにあるときに得られる というものではなく、目標を目指して地道に努力をしているときに得られるものです。この2学期も、落ち着いて努力しましょう。

さて、今日のメインの話をしていきます。今日も、ペーパーパワーポイントのプリントをお配りしています。(配付したプリントは最後に掲載)

1学期に、あちこちの中学校に行って、学校説明会で長岡高校のPRをしてきたのですが、ある中学校で、中学生から、「服装や身だしなみに関して、どんな校則がありますか」という質問を受けました。私が、「あー、校則ねえ、校則、無いんだわあ」といったら、中学生3~4人から「えっ!?!」と言う声が発せられました。

長岡高校には、生徒手帳に記載があるとおりに、「お互いに礼儀正しく」とか、「無断で校外に出ない」など、「生徒心得」なるものはありますが、服装を始め、その他のことについても、いかにも校則というような校則はありません。どうしてだと思いませんか。

私の考えでは、答えのヒントは「論語」にあると思います。2, 3年生には、以前お話しした、「君子と小人」の「論語」です。

良かったら、図書館に行って論語を読んでみましょう。いろいろなことが書いてあって面白いですよ。

孔子が生きた中国の春秋時代は、諸国の争いと秩序や道徳の荒廃という乱世でした。こうした乱れた時代に対してどう対処するか、例えば、法律を細かく定めて罰則を厳しくして、秩序を回復する方法があります。ところが、いつまでも法律を適用することだけを行っていれば、その法律に触れなければ何をしてもいいのだということになってしまいます。

孔子は、法律の適用は大切だが、もっと大切なことは道徳を身につけさせることだと言っています。道徳に従っていれば、法律はやむを得ないときだけ適用すれば済むという考えです。

論語の中に、このことを、孔子は次のように言ったとあります。

(スライド1)

「之を導くに政（まつりごと）を以てし、之を斉（ととの）うるに刑を以てすれば、民免れて恥無し。之を導くに徳を以てし、之を斉うるに礼を以てすれば、恥有りて且（かつ）正し。（為政第二：3章）」

現代語訳は、その下の（スライド2）です。

行政を法律や刑罰のみによって行えば、民衆は法律に引っかかりさえしなければ大丈夫だと、そのように振る舞って何の恥じるところもない。しかし、道徳や礼節を第一とすれば、不善を恥じて正しい行いをするようになる。というような意味です。

仮に、学校で服装が乱れている場合、校則や罰則を厳しくして、一時的に服装が良くなったとします。でも、生徒に道徳心、礼節などが育っていないと、校則にないことは何をしてもいいんだというようになってしまいます。

服装以外のことについても同様です。

長岡高校はそういう学校ではなくて、生徒の皆さんが道徳心を持ち、礼節をわきまえ、正しく行動できるからこそ、細かい校則が必要ないのだと思います。

そういえば、昨年、和同会で、卒業式の卒業生の服装についてのアンケートを取りました。私から呼びかけてきた、「長岡高校は米百俵の学校なんだから、必要以上に華美にならないように、和装ではなくスーツなどで臨んでほしい」という呼びかけに対して、「満足」と「不満」と「どちらでもない」がそれぞれ3分の1ずつでした。人それぞれの考え方がありますから、3分の1ずつというのは、健全な状態かなと思っています。ただ、「不満」の理由として、「制服制度廃止宣言に反するから」というものがありました。これは、1972（昭和47）年に和同会が作成した「制服制度廃止宣言文」の内容

を勘違いしているかもしれないなと感じましたので、ちょっとお話しします。

生徒手帳にある宣言文をよく読むと、勝手な服装をしてよいとは書かれていません。

(スライド3のように)

- ・制服という外形にとらわれない人間性の本質が重要である。
- ・制服制度を廃止した学生生活では、より一層各自の良識が重要視される。
- ・私たちの負う責任も重くなる。
- ・望ましい状態に保ち続ける不断の努力が必要。
- ・強制によらぬ新しい秩序が生まれる。

と記載されています。まさに、「自分たちは決まりがなくとも適切に行動する」、ということが宣言されているのだと思います。

むしろ、「華美な服装にならないように」という呼びかけに「満足」、の理由として「制服制度廃止宣言文」があがるのではないかと思うのです。

在校生の皆さんは参加できませんでしたが、今年3月の卒業式においても、卒業生の服装は、昨年に引き続き、とてもスッキリと、きちんとしていて素晴らしかったです。

生徒の皆さんの中で、先生方から「長岡高校生らしく しなさい」と指導されたことがある人が いるかもしれません。長岡高校生らしくって、何でしょう。それは、米百俵の精神だったり、長高の3つの伝統精神だったり複数あるのだと思いますが、その一つが、論語にある孔子の言葉のような状況、それは、決まりは最小限でよく、皆さんが道徳心を持ち、礼節をわきまえ、正しく状況を判断し、行動できること、なのだと思います。

ということで、この2学期、長岡高校生らしい しっかりした生活態度で学校生活を送りながら、勉強にも部活動にも頑張ってください。

最後に一言だけ、1, 2年生も、特に3年生も、勉強で困難を感じたとき、また、勉強だけでなく、部活動や、あらゆる事に当てはまるとは思います。何事も基本にかえることが、遠回りのようで一番効率がいいです。焦らず、粘り強く頑張ってください。

では、新型コロナウイルスの心配はまだありますので、感染拡大防止に各自で十分な対策をしながら、皆さんが、それぞれに充実した2学期を過ごすことを願って、始業式の話とします。

終わります。

孔子の言葉（論語より）

之を導くに政（まつりごと）を以てし、之を斉（ととの）うるに刑を以てすれば、民免れて恥無し。

之を導くに徳を以てし、之を斉うるに礼を以てすれば、恥有りて且（かつ）正し。

（為政第二：3章）



1



制服制度廃止宣言文より

- ・ 制服という外形にとらわれない人間性の本質が重要
- ・ 制服制度を廃止した学生生活では、より一層各自の良識が重要視される
- ・ 私たちの負う責任も重くなる
- ・ 望ましい状態に保ち続ける不断の努力が必要
- ・ 強制によらぬ新しい秩序が生まれる



3

孔子の言葉の現代語訳

行政を法律や刑罰のみによって行えば、民衆は法律に引っかかりさえしなければ大丈夫だと、そのように振る舞って何の恥じるところもない。

しかし、道徳や礼節を第一とすれば、不善を恥じて正しい行いをするようになる。



2



難しいときは何事も基本にかえる

わからなくなったら基本にかえるでござる

カエルで5ザル



4